

ICTメディアリテラシー育成プログラムについて

平成20年2月27日
総務省情報通信政策局
情報通信利用促進課

「重点計画-2007」(平成19年7月、IT戦略本部)における記述

Ⅱ 政策パッケージを推進するための施策

2. 4 ネット上の違法・有害情報に起因する被害の抜本的減少を目指した集中対策の実施

(1) 政府一体となった総合的な違法・有害情報対策の推進(内閣官房及び関係府省)

(ア) フィルタリング導入の促進

(イ) 有害サイト運営者による利用者の年齢確認方法等

(ウ) 情報モラル教育の推進

a) 学習指導要領の改訂(文部科学省)

b) 情報モラル教育の推進(文部科学省)

c) e-ネットキャラバンの実施(総務省、文部科学省)

主に保護者及び教職員を対象としたインターネットの安全・安心利用に向けた啓発のための講座を、通信関係団体等と連携しながら、2007年度も引き続き、全国規模で実施する。

d) 青少年を取り巻く有害環境対策の推進(文部科学省)

e) ユビキタスネット時代における新たなITメディアリテラシー育成手法の調査・開発(総務省)

2006年度に調査・開発を行った、子どものインターネット、携帯電話等のITメディアの健全な利用の促進を図るための指導マニュアルや教材等からなる新たなITメディアリテラシーの育成プログラムについて、2007年度以降に広く普及を図る。

f) インターネット上の違法・有害情報に対する対策の強化(警察庁)

小学校5, 6年向けのICTメディアリテラシーを育成するプログラムを開発し、普及を図る

- 着実な理解のため、セミナーなどでの学習と家庭での復習を組合せ
- 指導者・保護者のICTメディアリテラシーへの理解促進と子どもへの指導のため、具体的な指導方法のガイド（ティーチャーズガイド、家庭学習用ガイドブック）を作成
- 子どもの興味・関心をひきつけるため、体験学習の手法を導入

セミナー学習

【学習者】

- 子ども

【学習の特徴】

- 1テーマ45～135分で構成し、体験活動を重視した学習
- テーマに応じ個人学習とグループ学習
- 学習テーマに沿った学びを通じ、ICTメディアリテラシーを楽しく習得



復習

補習

家庭学習

【学習者】

- 子ども
- 保護者

【学習の特徴】

- 1日20分程度の会話をベースとした**復習・補習**
- 子どもが保護者との対話でセミナー学習の内容理解を深めることをねらいとする
- 保護者が子どもとの対話や家庭学習用ガイドブックにより、ICTメディアリテラシーの必要性に気づくことをねらいとする



学習テキスト

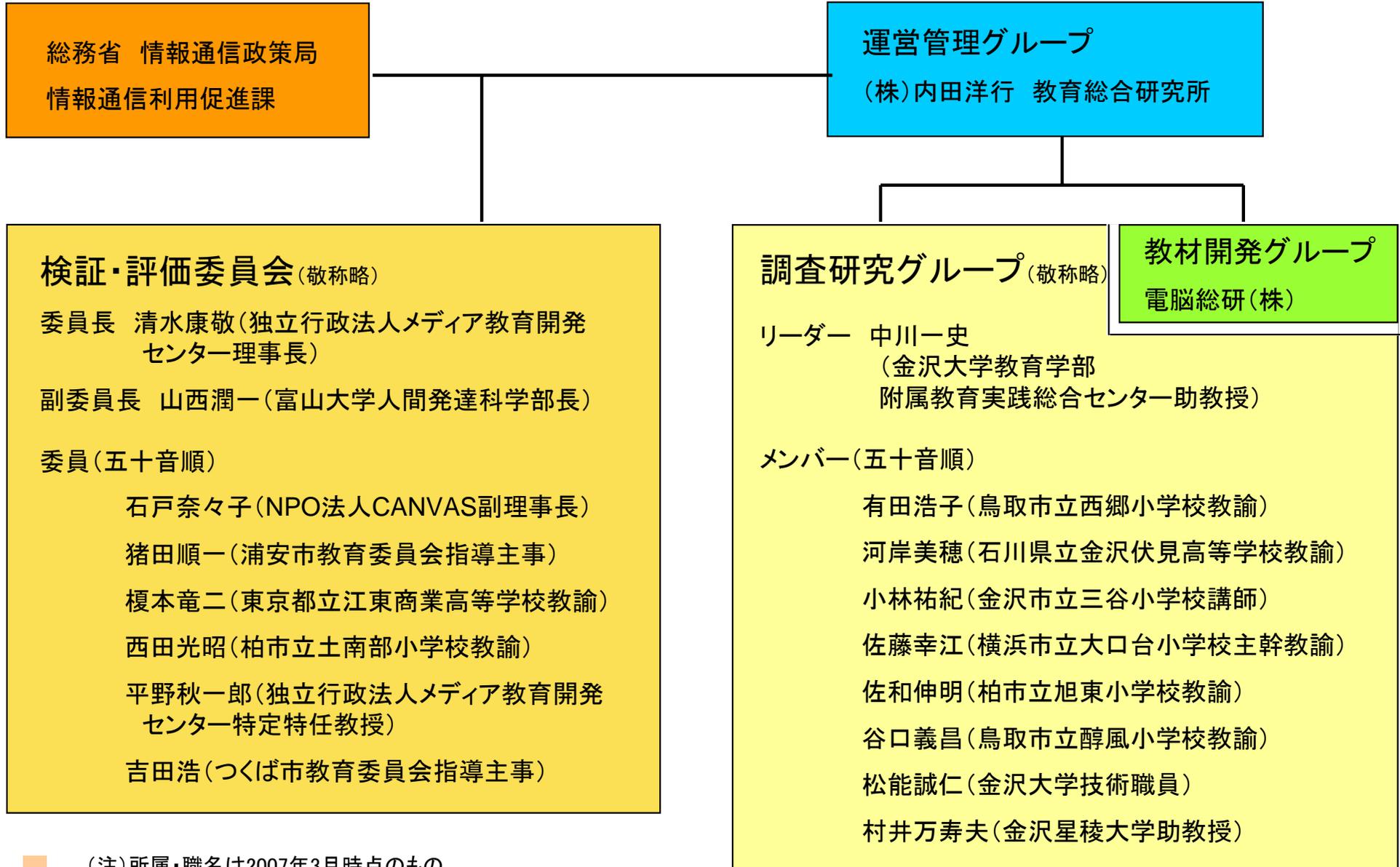
インターネット補助教材

学習ワークブック

ティーチャーズガイド

家庭学習用ガイドブック

開発した教材等を公開し、広く普及することにより、全国的にICTメディアリテラシーの向上を図る



単なるICTメディアの活用・操作能力のみならず、メディアの特性を理解する能力、メディアにおける送り手の意図を読み解く能力、メディアを通じたコミュニケーション能力までを含む概念

学習項目に整理

ICTメディアリテラシー学習項目（小学校5・6年生用）

- 1 ICTメディアの特性を理解する能力
- 2 ICTメディアを操作できる能力
- 3 情報を収集する能力
- 4 情報を処理・編集する能力
- 5 情報を表現する能力
- 6 情報を伝達する能力
- 7 ICTメディアにおける送り手の意図を批判的に読み解く能力
- 8 主体的にコミュニケーションする能力
- 9 コミュニケーションする相手を尊重する能力
- 10 ICTメディアを安全に使う能力
- 11 情報の権利（著作権・肖像権）を保護する能力

情報活用能力の3観点

(文部科学省「情報活用能力の3観点の分類及び指導項目の整理」)

情報活用能力の3観点

①情報活用の実践力:

課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力

②情報の科学的な理解:

情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

③情報社会に参画する態度:

社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

ICTメディアリテラシー学習項目(小学5・6年生用)

(平成18年度総務省事業「ユビキタスネット時代における新たなICTメディアリテラシー育成手法の調査・開発」報告書)

表5-3 ICTメディアリテラシー学習項目(小学5・6年生用)

ICTメディアリテラシー	情報活用能力(第1)			家庭等で教材を制作するために必要なICTスキル(第2)	
	情報収集能力	情報整理・編集能力	情報表現能力	情報伝達能力	情報活用能力
ICTメディアの特性を理解する能力 インターネットの特性を理解し、適切な情報発信ができる。	◎		○		
ICTメディアを操作できる能力 ウェブブラウザやホームページの仕組みを理解し、正しく操作できる。	◎	○			
情報を収集する能力 適切なメディアを選択し、正しい情報を収集できる。	◎		○		
情報を処理・編集する能力 適切な情報を評価・選択し、その情報を加工・整理できる。	◎	○			
情報を表現する能力 情報の特性や表現方法を理解し、自分なりに情報を表現できる。	◎	○			
情報を伝達する能力 受け手や情報の特性や伝え方を理解し、適切な情報伝達ができる。	◎		○		
ICTメディアにおける送り手の意図を批判的に読み解く能力 情報が伝達する意図を理解し、収集した情報に対して適切な判断ができる。	○		◎		
主体的にコミュニケーションする能力 社会生活の中でメディアが果たしている役割や有用性を理解した上で、他の人と積極的なコミュニケーションができる。	○		◎		
コミュニケーションする相手を尊重する能力 コミュニケーションを始める前に相手や相手への敬意を示し、ルールやマナーを守ることを意識できる。	○		◎		
ICTメディアを安全に使う能力 情報に対する危険や適切な情報への対処方法を理解し、インターネットを安全に使うことができる。	○		◎		
情報の権利を保護する能力 著作権や肖像権などの権利を理解し、それらの権利を守ることを意識できる。	○		◎		

◎: 必ず身に付けている ○: やや身に付けている

「伸ばそうICTメディアリテラシー —つながる！わかる！伝える！これがネットだ—」

＜実証実験の様子＞



学習テーマ

- ① インターネットで調べよう！
- ② 学校のステキを伝えよう！
- ③ わくわく！ハラハラ？インターネット
- ④ メールでけんか！どうする？
- ⑤ ケータイを持って街へ出かけよう！



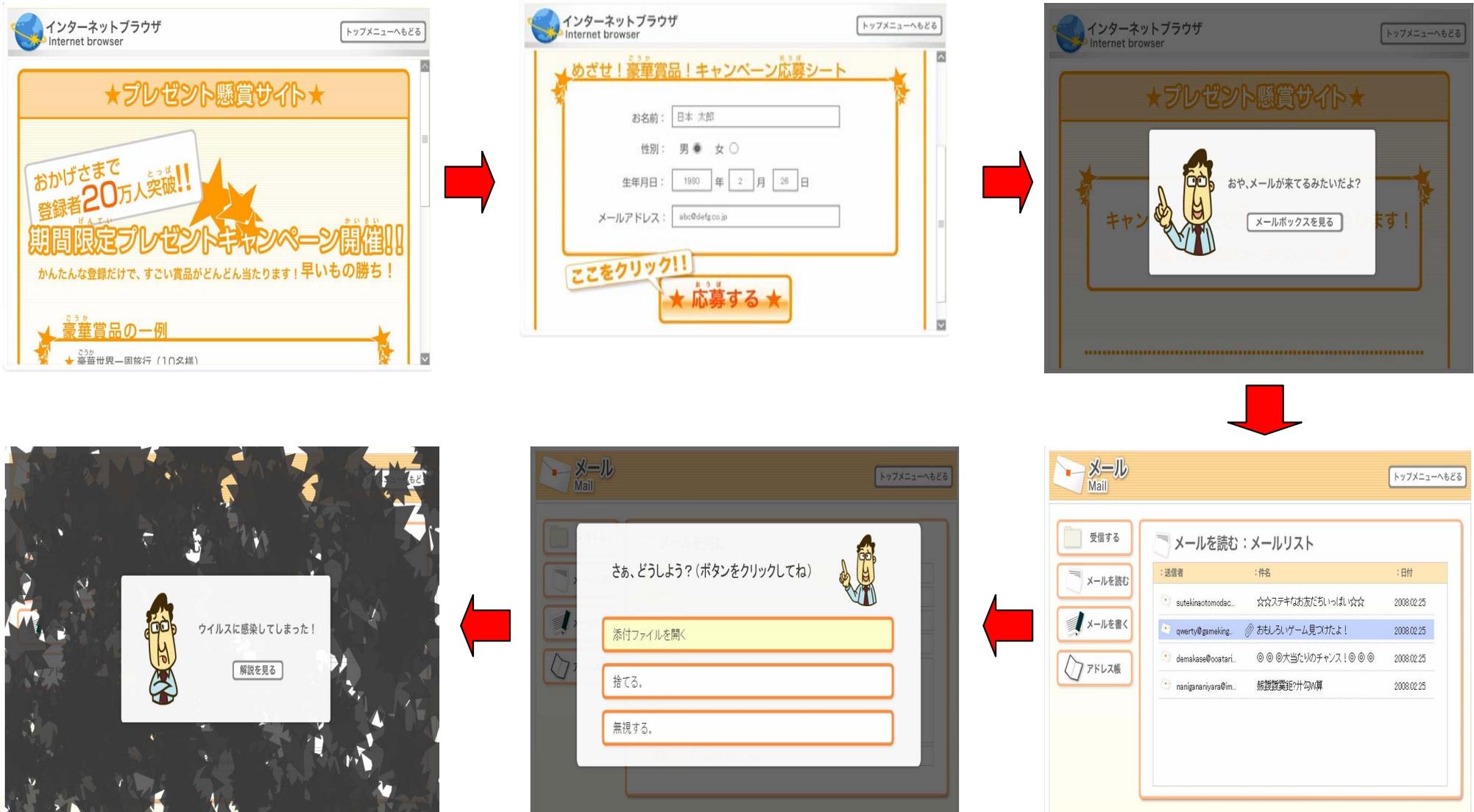
育成プログラムで設定した学習テーマと育てたい能力について

(平成18年度総務省事業「ユビキタスネット時代における新たなICTメディアリテラシー育成手法の調査・開発」報告書)

学習テーマ名	セミナー学習の学習時間	「ICTメディアリテラシー学習項目(小学校5・6年生用)」中の関連する能力
インターネットで調べよう!	45分×3 (135分)	情報を収集する能力 情報を処理・編集する能力 ICTメディアにおける送り手の意図を読み解く能力
わくわく! ハラハラ? インターネット	45分×1 (45分)	ICTメディアの特性を理解する能力 ICTメディアを安全に使う能力
学校のステキを伝えよう!	45分×3 (135分)	ICTメディアを操作できる能力 情報を伝達する能力 情報の権利を保護する能力
メールでけんか! どうする?	45分×1 (45分)	ICTメディアを操作できる能力 コミュニケーションする相手を尊重する能力
ケータイを持って街へ出かけよう!	45分×1 (45分)	ICTメディアを操作できる能力 ICTメディアを安全に使う能力 情報の権利を保護する能力

「伸ばそうICTメディアリテラシー —つながる！わかる！伝える！これがネットだ—」

インターネット補助教材 ICTシミュレーター の例 （「わくわく！ハラハラ？インターネット」より）



完成したプログラムを無料で公開中です。(平成19年7月～)

http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/pdf/index_01.pdf

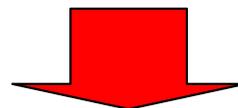
- ・ 開発に当たり、有識者による検証・評価、小学校における実証授業、ウェブ公聴会を経て、内容や実施運営面からの妥当性等について、幅広い角度から客観的に確認し、必要な改善を行いました。
- ・ 平成19年度からは、ICTメディアリテラシー育成プログラムの普及、検証のための調査研究を行っています。

【予算額】

平成18年度	4,000万円
平成19年度	2,200万円
平成20年度	2,100万円(予定額)

普及に向けた取組状況(平成20年2月現在)

- 記者発表(19年7月10日)→ 電波タイムズ(7月18日)、教育マルチメディア新聞(8月4日) 等
- 講演等
 - ・全国5か所(18,19年)の「New Education Expo」で講演、広報
 - ・総務省主催行事で講演、広報
 - ・内閣府や文部科学省主催の会議でも説明 等
- 広報誌掲載
 - ・総務省広報誌、情報通信ジャーナル 等
- ホームページ掲載
 - ・総務省、ネット利用の安全と未来推進会議、学びの場.com、教育情報化推進協議会、青少年を有害情報環境から守るための国民運動、ブロードバンドスクール協会 等
- イベントや研修会等における展示、配布等



○教材サイト アクセス数 約360,000件
○テキスト(4種類) 配付数 約2,200件
○テキスト(4種類) ダウンロード数 約4,600件

○研修、実践授業等
・指導者育成研修 13件 指導主事、小・中学校教諭等
・親子学習型セミナー 4件 小学生と保護者等
・学校での実践授業 14件 宮城県、福島県、茨城県、千葉県、神奈川県、京都府、福岡県